

- ◆ 会 場：柏崎原子力広報センター 研修室
  - ◆ 出席委員：新野・川口・久我・佐藤・武本・前田委員 …6 名
  - ◆ オブザーバー：保安院／竹本所長 大嶋副所長 嶋崎検査官 エネ庁／七部所長  
東電／西田技術担当 森 GM 宮武
  - ◆ 事務局：市／阿部主任 広報センター／永井事務局長 石黒主事
- 

次回以降定例会内容について

◆ 1 月定例会（1 月 13 日）

- 〈会長〉 2 月の情報共有会議に向けて委員の意識合わせをしたいと思う。委員同士でテーマを絞るような話を 1 月に行えたらいいと考えるが、どんなテーマがいいだろうか。
- 〈委員〉 ここ 2 年はずっと地震に関する話ばかりだった。地震に関するテーマもありだが、本来、この会は透明性を確保する会。情報公開や情報交換、市民の目線といった原点に立ち返る必要があるのではないかと。
- 〈委員〉 見直しもあったのだから、「防災」の問題をとりあげてはどうか。あまり議論もしないまま、いつの間にか決まってしまうのはまずいと思う。首長がくるのだから、防災に対するそれぞれの基本的考え方を話してもらってはどうか。
- 〈委員〉 今後の問題として防災もいいと思う。行政がやるべき見直された「防災」のポイントを説明してもらえばいいのではないかと。
- 〈柏崎市〉 防災についてはまだ県から回答がきていないと聞いている。また、刈羽村は早く 3 月とも聞いている。防災といっても理念的な話しかできないのではないかと。
- 〈委員〉 それでいいのではないかと。首長としての基本的な考え方でいい。
- 〈委員〉 首長に、防災の理念を語ってもらえばいいのでは。発電所が動き始めると次の問題は防災になる。
- 〈柏崎市〉 「防災計画」ではなく、原子力防災に対する姿勢ということか。
- 〈委員〉 そう。防災についても触れて話をしていただきたい。1 月もこのことについて、委員同士で話をしたらいいのではないかと。
- 〈委員〉 防災だけでなく首長としての、原子力に対する見方も話してほしい。
- 〈柏崎市〉 原子力の政策に対してということか。原子力に対するどういう見方か。
- 〈会長〉 いつも聞いていることと重なるかもしれないが、原子力に向き合う県、市、村の姿勢。
- 〈柏崎市〉 原子力及び原子力発電所に対するスタンス、姿勢、考え方といったことか。
- 〈会長〉 それに加えて、見直しされている「防災」についての方針や姿勢など概念的なものでいいので、できれば触れて話していただければと思う。詳細は 4、5 月頃でも、防災計画が決定したらまた説明をしていただく予定でいる。
- また、委員には、せばまった議論ではなく、ここ数年間の地震の前後も含めた、広い視野からの議論をしていただきたい。年に一度しかお会いできない方々なので、1 月はそのプレ議論をさせていただく。2 月は時間制限があるのでご自分の意見をコンパクトにまとめていただきたい。
- 〈委員〉 1 月のテーマは、例えば「原子力発電所の現状を踏まえて」にして、協議項目として「防災について」や「行政の原子力発電所に対するスタンスについて」など入れては

どうか。

(委員 了解)

〈会長〉2月は昨年同様、先に全委員が発言し、その後、首長にご発言いただくスタイルで行いたい。首長の見解も聞きたいし、ぜひ委員の思いも理解していただきたい。

〈委員〉委員の発言時間は3分。2分半で合図をし、3分になったら強制的に終了させていただく。

(委員 了解)

**【決定事項】**

- ・ 発電所の現状を踏まえた委員同士のディスカッションを行う。具体的には「防災」や「原子力発電所に対する行政の姿勢、考え方」など。

◆ 2月定例会（2月3日）情報共有会議

**【決定事項】**

- ・ 進行は昨年同様とし、先に全委員が発言する。その後、首長にご発言いただく。
- ・ 委員の発言時間は3分。2分半で合図をし、3分になったら強制的に終了する。
- ・ 県、市、村の各首長には、原子力及び原子力発電所に対する姿勢や考え方について、また「防災」についての方針なども可能なら触れてお話をいただきたい。

◆ 3月定例会について

**【決定事項】**

- ・ 日程 3月3日（水）18：30～ 柏崎原子力広報センター研修室
- ・ 内容は次回以降協議する。

**視点39号（第77回定例会分）について**

〈事務局〉議事内容に関係しない質問がいくつかあるがどう取り扱うのがいいだろうか。

〈委員〉関係ない質問でも、極力記載しないといけないだろう。

〈委員〉「その他の質問」という項目を設け、そこに記載してはどうか。

(委員 了解)

**【決定事項】**

- ・ 「その他の質問」という項目を設けそこに記載する。

**その他**

○ エネ庁主催エネルギー座談会の概要原稿案について

〈エネ庁〉11月27日に行った座談会の概要の原稿案（広報誌スマイル、新聞折込）について確認いただいた。新聞折込の原稿について、同日、他の団体とも座談会を行っているため、地域の会の設立経緯や活動方針などの説明記載がないと、委員の発言背景などがわからず、読み手によく伝わらず、混乱するとご意見をいただいた。これを受け、地域の会の設立経緯、活動方針を掲載したいと思っている。ご意見をいただきたい。

〈委員〉会もいろいろな人が集まっている。どういう趣旨の会か説明がないと、所属する人全員がこういう考えと思われてしまい誤解を招くので、趣旨を載せなければおかしい。

〈エネ庁〉「視点」の表紙の記事を参考にさせていただきたい。

〈委員〉会長了解でよい。

〈エネ庁〉追加文章については新野会長に相談させていただきたい。

また、広報誌スマイルは、スペースの関係上、意見の列記はやめたいと思う。「地域の会」と座談会をやったという事実と写真掲載のみを行いたい。

(委員 了解)

〈委員〉折込チラシの原稿は文字が小さいと思う。

〈エネ庁〉会の設立趣旨なども記載するのでスペース的にこれ以上大きくするのは難しい。

〈委員〉活字の使い方が、書体は丸ゴシックを使うと年配者でも読みやすい。同じフォントでも読みやすい。

○ 前回定例会での委員質問について

〈保安院〉前回定例会での久我委員からの質問にはどう回答したらいいだろうか。

〈委員〉前回からの動きの中で言ってもらえばいいのではないか。

(委員 よい)

**【決定事項】**

- ・ 前回定例会以降の動きの中で回答する (保安院)

**次回運営委員会**

1月20日(水) 18:30～ 柏崎原子力広報センター研修室